

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
 コード番号 6425 URL <https://www.universal-777.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO兼CIO (氏名) 富士本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	124,094	40.0	16,565	—	32,298	160.4	23,943	846.6
2022年12月期第3四半期	88,614	53.6	579	—	12,404	—	2,529	—

（注）包括利益 2023年12月期第3四半期 40,770百万円（—％） 2022年12月期第3四半期 584百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	309.02	308.97
2022年12月期第3四半期	32.65	32.64

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	641,533	386,983	60.3	4,993.65
2022年12月期	596,177	349,315	58.6	4,507.48

（参考）自己資本 2023年12月期第3四半期 386,927百万円 2022年12月期 349,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	40.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年12月期（予想）期末配当は、未定としております。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,500	32.3	28,000	131.7	39,000	179.9	30,000	160.7	387.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	80,195,000株	2022年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,711,096株	2022年12月期	2,711,046株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	77,483,934株	2022年12月期3Q	77,483,999株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想について」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結損益計算書注記)	9
(4) 追加情報	9
(5) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2023年12月期 第3四半期累計	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
個別 (百万円)	49,749	4,007	6,047	2,524
連結 (百万円)	124,094	16,565	32,298	23,943

遊技機事業においては、6.5号機ならびにスマートパチスロが好調な稼働を継続しており、パチンコ機を含めた総販売台数は113,148台となりました。

統合型リゾート(IR)事業では、当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」が当第3四半期において過去最高の調整後EBITDAを記録するなど、引き続き順調に推移しております。

また、賃貸借契約解除に伴う賃貸借契約解約益、リース解約益の計上、円安ドル高による為替差益の計上もあった一方で、社債利息についてはドル建であり、円安ドル高の進行に伴い前年同期比で増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は124,094百万円（前年同期比 40.0%増）、営業利益は16,565百万円（前年同期 営業利益579百万円）、経常利益は32,298百万円（前年同期比 160.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23,943百万円（前年同期比 846.6%増）となりました。

なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

①遊技機事業

当第3四半期連結累計期間における遊技機事業の売上高は48,135百万円（前年同期比 23.0%増）、営業利益は11,292百万円（前年同期比 66.6%増）となりました。

当第3四半期における市場環境は、パチスロ機においては6.5号機ならびにスマートパチスロが引き続きパチンコホールの期待に応える好調な稼働を継続しております。パチンコ機においてはスマートパチンコの本格的な導入が始まっており、市場の活性化が期待されます。

かかる状況下で当社は、株式会社カプコンとの業務提携による遊技機第5弾『スマスロ 戦国BASARA GIGA』、株式会社バンダイナムコエンターテインメントの国民的野球ゲームをモチーフとした『ファミスタ回胴版!!』の新機種2タイトルを市場投入いたしました。パチンコ機においては、『Pアナザーゴッドハーデス-狂乱-』、ファン待望のシリーズ最新作『Pハイスクール・フリート オールスター』の市場投入を行いました。なお、当第3四半期連結累計期間における総販売台数に関しても、当社はパチスロ機販売台数上位のシェアを確保しております。

②統合型リゾート(IR)事業

当第3四半期連結累計期間における統合型リゾート(IR)事業の売上高⁽¹⁾は75,151百万円（前年同期比 54.1%増）、営業利益は12,171百万円（前年同期比 453.8%増）となりました。また、当第3四半期における調整後EBITDA⁽²⁾は23,939百万円（前年同期比 77.9%増）となりました。

当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」は、当第3四半期において過去最高の調整後EBITDAを記録し、第1・第2四半期に続き着実な成長を見せております。

第1四半期にフォーブス・トラベルガイドより4年連続で名誉ある5つ星を獲得したことに続き、当第3四半期ではワールド・トラベル・アワードのアジアを代表するカジノリゾートに選ばれるなど、アジア地域におけるカジノリゾートとしての存在感を高めています。

オカダ・マニラは来るホリデーシーズンに向けて施設を拡張中です。家族で楽しめる屋内エンターテインメント施設「PLAY」のスペースを第4四半期中に拡張し、フィリピン料理と世界の美食を提供する「Medley Buffet」も、ホリデーシーズンまでに改装のうえ再オープンする予定です。

(1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したもの

(2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目

③その他

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は618百万円（前年同期比 6.9%増）、営業利益は284百万円（前年同期 営業損失110百万円）となりました。

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにおいて配信中の『沖ドキ!GOLD』『アナザーゴッドハーデス-解き放たれし槍撃ver.-』のシミュレータアプリが引き続き売上ランキング上位を維持し、大変好評を博しております。月額制スマートフォンアプリの「ユニバ王国」では『アナザーゴッドハーデス-解き放たれし槍撃

ver.-] を配信しました。また、Apple Music・Spotify・YouTube Music等の配信サービスにて、3タイトルの楽曲配信を行いました。そのうち1タイトルは、新たな試みとしてパブリックドメイン楽曲をユニバーサルサウンドチームがアレンジしたアルバムです。いずれのサービスも、機種数及び楽曲数を増やすことでユーザーの新規獲得と満足度向上に努めております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における財政状態については、以下のとおりです。

総資産の額は、円安ペソ高により固定資産が増加、賃貸借契約解除に伴い、関係会社長期未収入金が増加した一方、リース資産の減少、繰延税金資産の取崩による減少、持分法投資損失の計上による投資有価証券の減少により、前連結会計年度末に比べて45,356百万円増加し641,533百万円となりました。

総負債の額は、連結子会社における長期借入金の返済による減少、未払費用の減少があったものの、円安ペソ高の進行によるリース債務の増加、円安ドル高の進行による社債の増加により、前連結会計年度末に比べて7,688百万円増加し254,550百万円となりました。

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加する一方、配当支払により減少、為替換算調整勘定についても円安ペソ高により増加したこともあり、前連結会計年度末に比べて37,668百万円増加し386,983百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①遊技機事業

遊技機業界における市場環境は、パチスロ機においてはスマートパチスロのさらなる市場シェアの拡大、パチンコ機においては遊技性の幅が広がった新内規機の開発が進んでおり、今後一層の市場の活性化が期待されます。

第4四半期においては、当社の主要タイトル機種である、まどか☆マギカシリーズ最新作『スマスロ劇場版 魔法少女まどか☆マギカ [前編] 始まりの物語 / [後編] 永遠の物語 f-フォルテ-』の市場投入、バジリスシリーズ最新作『スマスロバジリスく〜甲賀忍法帖〜絆2 天膳 BLACK EDITION』等の販売を開始しております。また、パチンコ機では『Pギルティクラウン2』の市場投入を開始しております。なお、いずれの機種もパチンコホールから高い評価を得ており、受注台数は好調に推移しております。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機の創出に努めてまいります。またその魅力ある遊技機を通して、遊技機業界全体の活性化に貢献するとともに、販売シェアの拡大に努めてまいります。

(ご参考) 2023年12月期 パチスロ・パチンコ販売台数

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期(見込)
販売台数(台)	24,903	51,483	36,762	66,000

(注) 第3四半期までの実績については、「2023年12月期 第3四半期決算補足資料」

(<https://www.universal-777.com/corporate/ir/library/result/>) をご参照ください。

②統合型リゾート(IR)事業

2023年12月期は、新型コロナウイルス感染症による旅行などへの影響が減少し、海外からの訪問者数の回復基調が続くと予想されます。フィリピン観光省の発表によると2023年の海外観光客の目標数は約480万人でしたが、9月までに約400万人を達成しており、ホリデーシーズンに向けさらなる増加が予想されます。

ゲーミング事業においては、すべての会員を対象に毎週抽選で旅行賞品(マニラ行きの航空券/バスチケット、ホテル宿泊券)が当たる「Okada Manila Go」キャンペーンを継続し、フィリピン国内外でのオカダ・マニラブランドの認知度向上に努めてまいります。また新たに「Come Home To Harmony at Okada Manila」キャンペーンを開始しており、ゲストの要望やニーズに応える本格的な体験をもたらす、メトロマニラの中心で第二の我が家のような快適さを提供することで、フィリピン国内の需要を取り込み成長してまいります。

フィリピン最高裁判所が発出したSQA0 (Status Quo Ante Order: 原状回復命令) の撤回については、フィリピン弁護士が継続的に必要な法的手続きを行っており、引き続き判決等を待っている状況です。今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにて株式会社エンターライズ社製『パチスロ 新鬼武者2』のシミュレータアプリを11月上旬より配信しております。また基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」が2023年10月10日に6周年を迎え、各種ゲーム内イベントを開催する他、パチンコ機『Pやじきた道中記』をモチーフにしたビデオスロットを配信予定です。引き続きコンテンツの拡充とサービスの改善、

ユーザー満足度の向上に努めてまいります。

(4) 連結業績予想について

2023年10月13日に2023年12月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、同日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,895	38,827
受取手形及び売掛金	9,707	6,139
有価証券	2,179	2,495
商品及び製品	2,652	2,946
仕掛品	14,328	14,180
原材料及び貯蔵品	10,644	13,321
その他	13,187	18,874
貸倒引当金	△787	△1,149
流動資産合計	87,807	95,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	341,483	364,536
建設仮勘定	6,212	6,673
リース資産(純額)	49,363	51,721
その他	35,229	37,269
有形固定資産合計	432,289	460,201
無形固定資産		
その他	1,112	1,496
無形固定資産合計	1,112	1,496
投資その他の資産		
投資有価証券	16,265	10,156
長期預け金	8,179	9,214
関係会社長期預け金	32,189	36,277
関係会社長期未収入金	—	12,315
その他	22,474	21,322
貸倒引当金	△4,743	△5,465
投資その他の資産合計	74,365	83,821
固定資産合計	507,766	545,519
繰延資産	603	377
資産合計	596,177	641,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,530	7,836
1年内返済予定の長期借入金	7,299	6,768
未払金	10,002	7,080
未払費用	23,074	15,685
未払法人税等	46	65
賞与引当金	80	308
その他	17,732	19,323
流動負債合計	65,765	57,070
固定負債		
社債	104,585	119,144
長期借入金	4,180	—
退職給付に係る負債	367	492
関係会社長期預り金	6,635	7,479
リース債務	57,464	58,214
その他	7,862	12,149
固定負債合計	181,096	197,479
負債合計	246,861	254,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,829	18,829
利益剰余金	338,932	359,777
自己株式	△7,317	△7,317
株主資本合計	350,542	371,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	43
為替換算調整勘定	△1,287	15,470
退職給付に係る調整累計額	18	26
その他の包括利益累計額合計	△1,285	15,540
新株予約権	58	56
純資産合計	349,315	386,983
負債純資産合計	596,177	641,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	88,614	124,094
売上原価	41,764	55,853
売上総利益	46,850	68,241
販売費及び一般管理費	46,270	51,676
営業利益	579	16,565
営業外収益		
受取利息	89	776
受取配当金	32	25
為替差益	14,649	10,712
賃貸借契約解約益	8,550	18,698
リース解約益	1,802	4,150
その他	400	353
営業外収益合計	25,525	34,717
営業外費用		
支払利息	4,013	3,607
社債利息	6,081	7,952
支払手数料	8	8
持分法による投資損失	3,280	7,091
その他	317	324
営業外費用合計	13,701	18,983
経常利益	12,404	32,298
特別利益		
固定資産売却益	52	49
関係会社清算益	28	—
その他	2	2
特別利益合計	83	51
特別損失		
固定資産除売却損	1,331	2
臨時損失	818	—
不法占拠に伴う損失	1,615	—
その他	29	—
特別損失合計	3,795	2
税金等調整前四半期純利益	8,692	32,347
法人税、住民税及び事業税	269	235
法人税等調整額	5,894	8,168
法人税等合計	6,163	8,404
四半期純利益	2,529	23,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,529	23,943

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,529	23,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	59
為替換算調整勘定	△1,926	16,758
退職給付に係る調整額	10	7
その他の包括利益合計	△1,945	16,826
四半期包括利益	584	40,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584	40,770
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書注記)

(固定資産除売却損)

前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年9月30日)

建設業者から納入した固定資産の瑕疵に関して係争中でありましたが、回収可能性を再検討し製品の瑕疵を証明することが困難と判断、当該固定資産を除却することとし、当該影響額1,181百万円を含む1,331百万円を当第3四半期において固定資産除売却損として計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年9月30日)

重要な固定資産除売却損はありません。

(臨時損失)

前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年9月30日)

当社グループの連結子会社TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC.において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした、フィリピン政府や、PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation: フィリピンカジノ運営公社)の要請に基づき、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における営業停止した施設の当該期間に係る固定費(減価償却費等)を、特別損失に計上したものです。

当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。